

科目名	教師論			担当教員	寺田 圭子	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED1EFE102
期待される学修成果						
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験	教諭（講師を含む）					
実務経験を生かした授業内容	学校現場、教育行政両面の38年の経験をもとに、教師として生きるための根幹の軸となる、ゆるぎない「教師像」を確立させるための授業とする。学校教育の現状、課題、働き甲斐を具体的に盛り込みつつ、演習形式も盛り込みダイナミックに展開する。					
到達目標及びテーマ	学ぶ側である「生徒」の立場から、教え導く側である「教師」の「果たすべき役割」へと目を向けさせることを通して、自分の中に「目指す教師像」を確立する。最終的には、「私が先生になったとき」に続く具体的な文言を各自語りきれるようにする。					
授業の概要	大学で養成教育を受けることの意味を、教員養成制度の成立過程や教員の職務や研修内容を通して理解する。特に、実践的指導力の育成、「教師の資質向上」という政策課題が叫ばれているが、教職に就いた後の自己研鑽の積み方との連続性の中で捉えた場合、大学での養成教育はその教職人生の土台となるべきものである。それを理解した上で、現在の大学での学習への取り組み方を考えていく。【デジタル技術利用 該当番号：④】					

授業計画	
第1回	イントロダクション 「理想の教師とは」
第2回	教師に求められる資質①－学級づくり－
第3回	教師に求められる資質②－人間関係づくり－
第4回	教師に求められる資質③－授業づくり－
第5回	教師の職務①－学習指導要領の背景と概要－
第6回	教師の職務②－授業改善－ GIGAスクール構想とICTの効果的な活用について
第7回	教師の職務③－教科の学習指導－
第8回	教師の職務④－評価について－
第9回	教師の日常①－生徒指導－
第10回	教師の日常②－授業論－
第11回	子ども理解－発達を学ぶ－
第12回	教育を巡る諸問題Ⅰ－いじめ・不登校－
第13回	教育を巡る諸問題Ⅱ－人権・道徳教育と道徳科－
第14回	教員採用選考試験の仕組みと現状、教師の職務の崇高さ
第15回	教師としての生きがい・喜び

事前学修		教師を目指す理由、目指す教師像についての考えをブラッシュアップしておくこと。また、教育法規や学習指導要領を読んでおくこと。特別支援教育、生徒指導や進路指導、家庭や地域との連携、教師教育制度などについては、下調べをしておくこと。
事後学修		授業後半に、それぞれ関係する課題を提示するので、授業での学びを加えてノートなどに整理して、学びの振り返りをする。
フィードバックの方法	授業後にミニレポートを提出させ、記述内容を評価して返却する。最終回には、総合的なレポートを作成させ評価する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	80%	授業の中での振り返りを400字程度の文章にてまとめ、その内容を評価し、累積によって総合評価する。

上記以外の試験・平常点評価	20%	意図的指名により、その積極性や発言内容、全体への貢献度を評価する。
定期試験	0%	実施しない
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし	なし	なし	なし	なし
参考資料	「まると教師論」（玉置崇著、プラネクス） 小学校学習指導要領 中学校学習指導要領 高等学校学習指導要領 幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領			

科目名	教師論			担当教員	林 一真	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED1EFE102
期待される学修成果						
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験	教諭（講師を含む）					
実務経験を生かした授業内容	学校現場の経験を生かし、教職の意義や教員の役割について講義する。対話を中心とした講義形式とする。					
到達目標及びテーマ	学ぶ側である「児童生徒」の立場から、教え導く側である「教師」の「果たすべき役割」へと目を向けさせることを通して、自分の中に「目指す教師像」を確立する。最終的には、「私が先生になったとき」に続く具体的な目標や取り組みを各自がイメージし、言語化できるようにする。					
授業の概要	教師の職務や研修などを具体的事例の資料やディスカッションを通して学修し、その社会的役割や意義を理解する。また実践的指導力の育成、「教師の資質向上」という政策課題の解決に向け、教職に就いた後の自己研鑽の積み方や学び続けることの必要性を理解し、現在の大学における自身の学び方を考えていく。 以下のデジタル技術の利用から、毎時間BYODの端末（ノートパソコン）が必要となる。 【デジタル技術利用 該当番号：①、③、④】 ① UNIVERSAL PASSPORT、Google Classroom、ロイロノート等などで、授業課題の提示や課題の提出などを行う ③ UNIVERSAL PASSPORT、Google Classroom、ロイロノート等などで、講義資料や教材をデジタル配付する ④ BYODの端末を積極的に活用し、デジタル技術を利用してディスカッション、プレゼンテーション、レポート等を作成する					

授業計画	
第1回	オリエンテーション：求められる教師像と目指す教師像 教員採用試験の仕組みと現状、教師の職務の崇高さ Google Classroomおよびロイロノート・スクールの設定 課題や評価方法について
第2回	教師に求められる資質① 学級づくり（生徒指導）
第3回	教師に求められる資質② 授業づくり（学習指導）
第4回	教師の職務① 学習指導要領の背景と概要
第5回	教師の職務② 学習指導要領に示された授業改善（授業論）
第6回	教師の職務③ 教科の学習指導と授業設計（授業論）
第7回	教師の職務④ 評価のあり方について
第8回	教師の日常① 生徒指導、学校運営。教師の身分と職務の特殊性（体罰、懲戒）
第9回	教師の日常② 授業の見方 教師と家庭・地域との連携、学校評価
第10回	子ども理解 発達を学ぶ
第11回	教育を巡る諸問題① いじめ・不登校
第12回	教育を巡る諸問題② 学級崩壊・発達障がい対応
第13回	道德教育と特別な教科道德について
第14回	特別支援教育について
第15回	まとめ：教師としての生きがい、喜び 記述テスト

事前学修		・ 次回の内容に関係する資料等に目を通しておく（指定する教科書、教育法規、学習指導要領など）。 ・ 特別支援教育、生徒指導や進路指導、家庭や地域との連携、教師教育制度などについては、下調べをしておくこと。 ・ 教師を目指す理由、目指す教師像についての考えをブラッシュアップしておくこと。
------	--	---

		2 時間
事後学修		毎時間後に課される「振り返り」を提出する。授業での学びを加えてノート・端末に整理しておくといよい。 2 時間
フィードバックの方法	授業後に振り返りを提出し、必要に応じてフィードバックを行う。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
レポート		80%	毎回の授業での振り返りの記述内容、第15回で行う記述テスト
上記以外の試験・平常点評価		20%	意図的指名による発言内容、ペア、グループ活動への積極性と全体への貢献度。
定期試験		0%	
補足事項	・授業の概要にも書かれているとおり、毎時間BYODの端末（ノートパソコン）が必要となる。しっかり充電をした上で持参すること。 ・授業開始時刻と提出期限は厳しく対処する。 ・公欠を除く、「6 回以上の欠席」の場合は失格となる。公欠の場合は、その旨をメールで伝えた上で公欠届けを提出すること。 ・代替課題はメールで申し出のあった場合に対応する。代替課題を提出すると成績に反映するが、出席扱いにはしない。 ・毎時間の振り返りが提出されていない場合は不可とする。 ・本講義は第15回に、第1回から第14回を踏まえて記述テストを課す。最終評価を行うものであり、未回答の場合は不可とする。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし	なし	なし	なし	なし
参考資料	・「まるごと教師論」（玉置崇著、プラネクスス） ・小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領 ・必要に応じて紹介するとともに資料等を配付する。			

科目名	教師論			担当教員	三島 晃陽	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED1EFE102
期待される学修成果						
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験	教諭（講師を含む）					
実務経験を生かした授業内容	学校現場、教育行政両面の38年の経験をもとに、教師として生きるための根幹の軸となる、ゆるぎない「教師像」を確立させるための授業とする。学校教育の現状、課題、働き甲斐を具体的に盛り込みつつ、演習形式も盛り込みダイナミックに展開する。					
到達目標及びテーマ	学ぶ側である「生徒」の立場から、教え導く側である「教師」の「果たすべき役割」へと目を向けさせることを通して、自分の中に「目指す教師像」を確立する。最終的には、「私が先生になったとき」に続く具体的な文言を各自語りきれるようにする。					
授業の概要	現在、大学で養成教育を受けることの意味を、教員養成制度の成立過程や教員の職務や研修内容を通して理解する。特に、実践的指導力の育成、「教師の資質向上」という政策課題が叫ばれているが、教職に就いた後の自己研鑽の積み方との連続性の中で捉えた場合、大学での養成教育はその教職人生の土台となるべきものである。それを理解した上で、現在の大学での学習への取り組み方を考えていく。【デジタル技術利用 該当番号③、④】					

授業計画	
第1回	イントロダクション 「理想の教師とは」 これまで出会ったきた教師や教師の明言をもとに、自分なりの理想の教師のイメージを持つ。
第2回	教師に求められる資質①－学級づくり－ 「理想の学級とは何か」という問いから、学級づくりの重要性を様々なデータから知る。
第3回	教師に求められる資質②－授業づくり－ 「授業とは何か」という問いから、自分自身が受けてきた授業をもとに、授業づくりにおける外してはいけない事項を自分なりにまとめる。
第4回	教師の職務①－学習指導要領の背景と概要－ 10年ごとに改訂されている学習指導要領の概略とその背景を知る。
第5回	教師の職務②－授業改善－ GIGAスクール構想とICTの効果的な活用について、様々なデータから考える。
第6回	教師の職務③－教科の学習指導－ 教科学習の意義を確認し、学習指導要領教科解説編から教科学習で学ぶべきことをまとめる。
第7回	教師の職務④－評価について 総括的評価や形成的評価について理解し、学校現場の実態を理解する。
第8回	教師の日常①－生徒指導 日常的な生徒指導の在り方を様々な実例を通して考える。
第9回	教師の日常②－授業論 日常的な授業づくりの実態を様々な実例を通して考える。
第10回	子ども理解－発達を学ぶ 「はじめに子どもありき」という文言が意味することから、子どもを理解することの大切さを各種データからまとめる。
第11回	教育を巡る諸問題Ⅰ－いじめ・不登校 文部科学省が発信するいじめ・不登校に関するデータから、今後の教育の在り方を考える。
第12回	教育を巡る諸問題Ⅰ－学級崩壊 学級崩壊、スクールカーストなどの現代の問題を直視し、教師としての在り方を考える。
第13回	総合的な学習の時間において、質の高い探究を構築するカリキュラムデザインについて考える。
第14回	教員採用選考試験の仕組みと現状、教師の職務の崇高さ
第15回	教師としての生きがい・喜び 教育DXとsociety5.0時代の学びの在り方

事前学修		教師を目指す理由、目指す教師像についての考えをブラッシュアップしておくこと。また、教育法規や学習指導要領を読んでおくこと。特別支援教育、生徒指導や進路指導、家庭や地域との連携、教師教育制度などについては、下調べをしておくこと。
------	--	---

事後学修		授業後半に、それぞれ関係する課題を提示するので、授業での学びを加えてノートなどに整理して、学びの振り返りをする。
フィードバックの方法	授業後にミニレポートを提出させ、記述内容を評価して返却する。最終回には、総合的なレポートを作成させ評価する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	80%	授業の中での振り返りを400字程度の文章にてまとめ、その内容を評価し、累積によって総合評価する。
上記以外の試験・平常点評価	20%	意図的指名により、その積極性や発言内容、全体への貢献度を評価する。
定期試験	0%	
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし	なし	なし	なし	なし
参考資料	「まるごと教師論」（玉置崇著、プラネクス） 小学校学習指導要領 中学校学習指導要領 高等学校学習指導要領 幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領			